

製品名: SAP 14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17594**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	14kDa

抗原情報

遺伝子名	SF3B14
別名	SF3B14; CGI-110; HSPC175; HT006; Pre-mRNA branch site protein p14; SF3b 14 kDa subunit
遺伝子 ID	51639.0
SwissProt ID	Q9Y3B4
免疫原	抗血清はヒト SF3B14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 76-125

背景

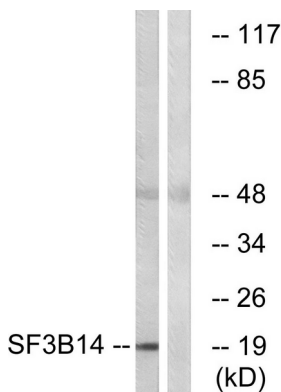
この遺伝子は、スプライシング因子 3b 複合体の 14 kDa タンパク質サブユニットをコードしています。スプライシング因子 3b は、スプライソソームの U2 および U11/U12 小核リボ核タンパク質複合体 (U2 snRNP) の両方に結合します。この 14 kDa タンパク質

は、スプライシング因子 3b 複合体のサブユニット 1 と直接相互作用します。また、この 14 kDa タンパク質は、プレ mRNA 分岐部位におけるスプライシングの最初のエステル交換反応段階を担うアデノシンとも直接相互作用します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: プレ mRNA のスプライシングに必須。スプライシングの最初の触媒段階において、プレ mRNA 分岐部位のアデノシンに直接接触します。スプライソソームに入り、17S U2 の一部として、またはマイナースプライソソームの場合は 18S U11/U12 snRNP 複合体の一部として pre-mRNA 分岐部位と会合し、これらの snRNP とそれぞれ U2 および U12 の分岐部位との相互作用を促進すると考えられる。類似性: 1 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。サブユニット: アミノ酸 255-424 の領域で SF3B1/SF3b155 と相互作用する。SF3b130 とは、より弱い程度に相互作用する。、

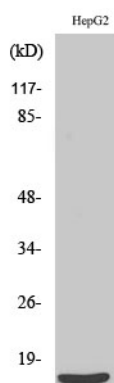
研究分野

スプライソソーム;

画像データ



SF3B14 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SAP 14 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。